

中学歴史プリント（過去問類似）

安土桃山時代

名前

得点

/8

問1 日本の戦国時代から安土桃山時代にあたる16世紀のヨーロッパにおいて、当時のキリスト教のあり方を根本から変え、後の社会に大きな影響を与えた出来事はどれか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 宗教改革 2. 十字軍の遠征 3. 世界恐慌 4. フランス革命

問2 豊臣秀吉が「刀狩令」を出した際、没収した武器の用途について農民たちにどのように説明したとされていますか。当時の状況として正しいものを選びなさい。（2024年 栃木公立入試 類似）

1. 京都の東山に建立する大仏殿の釘やかすがいなどの材料にする 2. 海外との貿易において、主要な輸出品として加工し活用する 3. 戦国時代から続く戦乱を終結させるため、すべて海に沈めて廃棄する 4. 新たに組織する足軽階級の公的な装備として再利用する

問3 織田信長が安土城下に出した法令（定書）の内容について、誤っているものはどれですか。（2019年 神奈川県公立入試 類似）

1. 座による独占販売を禁止し、工業者の自由な活動を促した。 2. 城下町を訪れる商人が安心して取引できるよう、借金を帳消しにする「徳政令」を適用しないことを定めた。 3. 城下町での商売にかかる税を免除し、他国からの商人も集まりやすくした。 4. 城下町の商人をすべて「座」に強制的に加入させ、それ以外の者の商売を厳しく禁じた。

問4 1590年に全国統一を達成した豊臣秀吉が、天下統一の拠点として大規模な石垣や堀を備えて築いた城はどれか。（2026年 富山公立入試 類似）

1. 大坂城 2. 江戸城 3. 安土城 4. 清洲城

問5 16世紀半ばにヨーロッパから鉄砲が伝来したことは、その後の日本の社会や戦いのあり方にどのような影響を与えましたか。当時の状況を説明したものとして適切なものを選びなさい。（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 足軽による集団戦が主流となり、それに対応するために堅固な城郭が築かれるようになった。 2. 騎馬武者による一騎打ちがさらに重視されるようになり、合戦の規模が縮小した。 3. 鉄砲の製造は国内では行われず、すべてヨーロッパからの輸入に頼っていたため普及しなかった。 4. 鉄砲はあくまで儀式用の道具として扱われ、実際の戦場で使用されることはほとんどなかった。

問6 平安時代から安土桃山時代にかけて、日本は海外から新しい宗教や文化を取り入れ、独自の発展を遂げました。次の4つの人物や出来事について、それらが行われた、あるいは活躍した時期が古い順に正しく並んでいるものはどれですか。・唐に渡り密教を学び、帰国後に真言宗をひらいた空海・宋に渡り、修行の重んじられる禅宗（臨済宗）を伝えた栄西・明へ渡り、大陸の画法を学んで水墨画を大成させた雪舟・九州のキリシタン大名らによってローマ教皇のもとへ派遣された天正遣欧使節（2016年 山口公立入試 類似）

1. 空海 → 栄西 → 雪舟 → 天正遣欧使節 2. 空海 → 雪舟 → 栄西 → 天正遣欧使節 3. 栄西 → 空海 → 雪舟 → 天正遣欧使節 4. 栄西 → 雪舟 → 空海 → 天正遣欧使節

問7 南蛮貿易が行われていた当時の貿易の様子や、取引された品物について述べた文として正しいものはどれですか。（2022年 静岡公立入試 類似）

1. ポルトガル人はマカオなどを拠点に日本へ来航し、中国産の生糸やヨーロッパの毛織物、時計などを持ち込んだ 2. 足利義満が倭寇と正式な貿易船を区別するために「勘合」と呼ばれる合い札を用い、銅銭を大量に輸入した 3. 平清盛が神戸の港を整備して宋（中国）の商人を招き、日本の金や硫黄と引き換えに香料や薬品を輸入した 4. 江戸幕府の鎖国体制のもと、長崎の出島においてオランダと清（中国）の商人だけに限定して貿易が行われた

問8 16世紀に日本の銀の産出量が飛躍的に増加し、世界有数の産出国となった背景に関連して、島根県の石見銀山で導入された技術やその影響について述べた文として正しいものはどれですか。（2019年 三重公立入試 類似）

1. 灰吹法と呼ばれる精錬技術が導入されたことで、銀の生産効率が大幅に向上した。 2. 明治時代の産業革命期に、最新の蒸気機関による採掘を開始し世界一の産出量となった。 3. 江戸時代の鎖国によって海外への輸出が禁じられ、すべて国内の通貨として利用された。 4. 田中正造が公害問題の解決を訴えたことにより、日本初の環境対策が実施された。

答え合わせ・解説

| | | |
|----|---|--|
| 問1 | 答え 1 宗教改革 | 16世紀は日本では織田信長や豊臣秀吉が活躍していた時代です。この時期のヨーロッパでは、ルターやカルバンらがカトリック教会の改革を求めた宗教改革が起こっていました。十字軍は11世紀から13世紀、フランス革命は18世紀末、世界恐慌は20世紀の出来事であるため、時期が異なります。 |
| 問2 | 答え 1 京都の東山に建立する大仏殿の釘やかすがいなどの材料にする | 秀吉は刀狩を命じる際、没収した武器を方広寺（京都）の大仏造立の材料にすると説明しました。これは、武器を差し出すことが現世の利益や来世の救済につながるという宗教的な名目を持たせることで、農民からの反発を和らげ、スムーズに武器を回収しようとする意図がありました。 |
| 問3 | 答え 4 城下町の商人をすべて「座」に強制的に加入させ、それ以外の者の商売を厳しく禁じた。 | 楽市・楽座は「座」の特権を否定する政策であり、商人を座に加入させるのではなく、むしろ座の束縛から解放して自由な競争を促すものでした。また、債務放棄を求める「徳政令」を適用しないと定めた点は、商人が貸し倒れを恐れずに取引を行えるようにするための重要な工夫でした。 |
| 問4 | 答え 1 大坂城 | 豊臣秀吉は交通の要所であった石山本願寺の跡地を利用して巨大な城を築きました。ここを政治・経済の拠点として、全国の土地を調査する太閤検地や、農民から武器を没収する刀狩といった重要な政策を次々と打ち出しました。 |
| 問5 | 答え 1 足軽による集団戦が主流となり、それに対応するために堅固な城郭が築かれるようになった。 | 鉄砲の伝来は、それまでの騎馬武者中心の戦術を、足軽の集団による一斉射撃を中心とした組織的な戦いへと激変させました。これに伴い、防御力の高い大規模な城が各地に築かれるようになり、戦国時代の終結と天下統一に向けた動きを加速させる要因となりました。 |
| 問6 | 答え 1 空海 → 栄西 → 雪舟 → 天正遣欧使節 | 空海は9世紀初めの平安時代初期に唐へ渡り、帰国後に高野山で真言宗をひらきました。栄西は12世紀末の鎌倉時代初期に宋から禅宗（臨済宗）を伝え、これが後の武家文化に大きな影響を与えました。雪舟は15世紀の室町時代に明で水墨画を学び、日本の水墨画を独自の芸術として確立させました。天正遣欧使節は、16世紀後半の安土桃山時代にイエズス会の勧めを受けたキリシタン大名によって派遣されたものです。したがって、平安、鎌倉、室町、安土桃山の時代順に並べるのが正解です。 |
| 問7 | 答え 1 ポルトガル人はマカオなどを拠点に日本へ来航し、中国産の生糸やヨーロッパの毛織物、時計などを持ち込んだ | 南蛮貿易では、ポルトガル人は拠点としていたマカオなどを通じて、日本で需要が高かった中国産の生糸（シルクの原料）を大量に持ち込み、日本からは銀が輸出されました。また、鉄砲や火薬だけでなく、時計やメガネといった西洋の新しい知識や文物が日本に紹介されたのもこの時期の特徴です。他の選択肢は、室町時代、平安時代、江戸時代の貿易の説明であり、時期や仕組みが異なります。 |
| 問8 | 答え 1 灰吹法と呼ばれる精錬技術が導入されたことで、銀の生産効率が大幅に向上した。 | 石見銀山では、16世紀に博多の商人らによって朝鮮半島から「灰吹法」という高度な精錬技術が伝えられました。これにより高品質な銀の大量生産が可能になり、日本の銀は東アジアやヨーロッパとの交易において極めて重要な役割を担うようになりました。田中正造が訴えたのは栃木県の足尾銅山での鉱毒事件についてです。 |